



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年2月14日

上場会社名 トレンダーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6069 URL <http://www.trenders.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 経沢香保子（戸籍名：岡本香保子）
 問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 郭翔愛 (TEL) 03-5774-8871
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,180	—	286	—	277	—	169	—
24年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	57.92	48.68
24年3月期第3四半期	—	—

(注)

1. 当社は、第3四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、平成24年3月期第3四半期の実績及び増減率については記載しておりません。

2. 当社は、平成24年6月15日付けで普通株式1株につき300株の割合で、平成25年1月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は当該分割調整後の数値を記載しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,599	1,383	86.5
24年3月期	898	581	64.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 1,383百万円 24年3月期 581百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,740	45.5	391	40.5	391	39.9	235	51.4	77.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	1,657,500株	24年3月期	1,387,500株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	－株	24年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	1,461,136株	24年3月期3Q	－株

（注）当社は、平成24年6月15日付で、普通株式1株につき300株の株式分割を行なっております。期末発行済株式数及び期中平均株式数は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、平成24年6月15日付で普通株式1株につき普通株式300株の株式分割を行なっております。また、当社は平成24年12月11日開催の取締役会において、平成25年1月1日付けで、普通株式1株につき普通株式2株の株式分割を実施することを決議致しました。

当年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成25年3月期第3四半期の1株当たり四半期純利益及び、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景とした緩やかな回復の動きが見られ、また政権交代後の経済政策に対する期待感から円安基調に転換し、株価の回復も見られるものの、欧米での財政不安の長期化及び新興国の成長鈍化等が懸念され、景気の先行きは依然として不透明感が拭えない状況で推移いたしました。

広告業界においてもメディア市場の継続的構造変化を伴いながら、国内広告全体での厳しい市場環境も常態化し、メディア環境の変化に合わせた新たなサービスへの挑戦無くして事業規模の拡大及び収益の確保を図ることは困難になりつつあります。

このような状況のもと、ソーシャルメディアマーケティング事業においては、従来より自会員であるwomediaを通じて、「Webメディア」及び「マスメディア」をワンストップで連動させることで競合他社や大手代理店との差別化を図ってまいりました。

当第3四半期累計期間は、ソーシャルメディアマーケティング事業においては、引き続き大手顧客企業を中心とした新規開拓やリピート率の向上といった営業戦略の強化に注力するとともに、新サービスとして、平成24年4月にはソーシャルプレゼントサイト「Amaze（アメイズ）」サービスを、平成24年7月にはスマートフォン向けプロモーションアプリ「キニナルモン」サービスをそれぞれ開始し、新たな収益源の確保を図ってまいりました。また、平成24年10月19日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したことによる知名度向上を生かし、顧客基盤の拡大に努めてまいりました。

メディア事業におきましては、ソーシャルメディアマーケティング事業と親和性が高く、今後伸張が見込まれる市場である美容医療のポータルサイト「キレナビ」の利便性向上及びプロモーションに取り組むほか、平成24年10月よりドクターコスメ（美容クリニックのオリジナル化粧品）の販売を開始いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績は売上高1,180,386千円、営業利益286,823千円、経常利益277,850千円、四半期純利益169,260千円となりました。

各セグメントの業績については、次の通りであります。

① ソーシャルメディアマーケティング事業

当セグメントにおきましては、大手顧客企業を中心とした新規開拓やリピート率の向上といった営業戦略の強化に注力するとともに、「Amaze（アメイズ）」「キニナルモン」サービスを開始いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,158,677千円、セグメント利益（営業利益）は525,078千円となりました。

② メディア事業

当セグメントにおきましては、「キレナビ」がオープン1周年を迎え、引き続きサイトの利便性向上を図るとともに、サイトの認知度を高めるためのプロモーションに取り組んでまいりました。ドクターコスメ（美容クリニックのオリジナル化粧品）の販売を開始いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は21,708千円、セグメント損失（営業損失）は26,099千円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は1,599,916千円となり、前事業年度末に比べ700,937千円増加しました。主な要因としましては、東京証券取引所マザーズ市場上場に伴う公募増資等による現金預金の増加668,531千円及び受取手形及び売掛金の増加38,082千円であります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は215,923千円となり、前事業年度末に比べ101,742千円減少しました。主な要因としましては、未払法人税等の減少67,001千円及び1年内返済予定の長期借入金の減少13,005千円であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は1,383,993千円となり、前事業年度末に比べ802,680千円増加しました。要因としましては、資本金の増加316,710千円、資本準備金の増加316,710千円及び四半期純利益の計上による利益剰余金の増加169,260千円であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年10月19日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

1 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	495,464	1,163,995
受取手形及び売掛金	262,952	301,034
仕掛品	12,364	6,001
貯蔵品	691	812
その他	16,646	14,475
貸倒引当金	△1,401	△2,157
流動資産合計	786,717	1,484,162
固定資産		
有形固定資産	30,305	27,128
無形固定資産	28,392	37,812
投資その他の資産	53,564	50,813
固定資産合計	112,261	115,754
資産合計	898,979	1,599,916
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,236	55,491
1年内返済予定の長期借入金	13,005	—
未払費用	47,895	49,238
未払法人税等	108,955	41,953
未払消費税等	17,822	15,627
預り金	9,188	15,130
ポイント引当金	2,105	3,609
その他	39,991	19,235
流動負債合計	301,200	200,286
固定負債		
資産除去債務	16,465	15,637
固定負債合計	16,465	15,637
負債合計	317,666	215,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	196,000	512,710
資本剰余金	175,000	491,710
利益剰余金	210,313	379,573
株主資本合計	581,313	1,383,993
純資産合計	581,313	1,383,993
負債純資産合計	898,979	1,599,916

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	1,180,386
売上原価	496,085
売上総利益	684,300
販売費及び一般管理費	397,477
営業利益	286,823
営業外収益	
その他	159
営業外収益合計	159
営業外費用	
支払利息	785
上場関連費用	8,347
営業外費用合計	9,132
経常利益	277,850
税引前四半期純利益	277,850
法人税、住民税及び事業税	103,285
法人税等調整額	5,304
法人税等合計	108,589
四半期純利益	169,260

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	ソーシャルメディアマーケティング事業	メディア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,158,677	21,708	1,180,386	—	1,180,386
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,158,677	21,708	1,180,386	—	1,180,386
セグメント利益又は損失(△)	525,078	△26,099	498,978	△212,155	286,823

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△212,155千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は、東京証券取引所マザーズへの株式上場にあたり、平成24年10月18日を払込期日とする有償一般割当増資(ブックビルディング方式による募集)により、発行済株式総数が270,000株、資本金及び資本準備金がそれぞれ316,710千円増加しております。この結果、当第3四半期会計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ316,710千円増加し、当第3四半期会計期間末において、資本金は512,710千円、資本剰余金は491,710千円となっております。